

【小学校・中学校・義務教育学校用】

令和4年度学校評価 結果・学校関係者評価

達成度(評価)
 A: 十分達成できている
 B: おおむね達成できている
 C: やや不十分である
 D: 不十分である

学校名	唐津市立竹木場小学校
1 前年度 評価結果の概要	<p>・学校教育目標 「夢を語って、夢を追う児童生徒の育成」～「継続」「挑戦」「進化」～のもと、県指定小中連携研究を柱に中学校区内の学校間で連携した取り組みを進めている。4校による合同研修や推進会議を実施し、協力・交流の機会や情報の共有を通して、学力向上、キャリア教育、人権・同和教育など、共に研鑽を積んだ。</p> <p>・学力向上については、佐賀県や唐津市が推し進める、「授業づくりの1, 2, 3」や「アクションプラン」をもとに、小中連携による研究に添って、単元による学習計画表の活用と授業と連動した家庭学習の工夫に取り組んだ。教師間で協議を重ね、学習計画表を活用して単元をひとまとまりにした授業が定着しており、家庭学習との連動にも意識した授業改善が進んでいる。</p> <p>・児童主体のあいさつ運動を実施しているが、中学生にならない、立ち止まりあいさつに取り組む児童が増えている。学校行事においても児童の出番が確保され、自分たちの手で行事を成功させたという達成感を感じさせることができています。</p>

2 学校教育目標	夢を語って夢を追う児童生徒の育成 ～「継続」・「挑戦」・「進化」～
----------	-----------------------------------

3 本年度の重点目標	<p>○中学校区内の学校連携に根ざした校内研究(キャリア教育・学力向上)の推進</p> <p>○学習用タブレット端末を活用した授業実践</p> <p>○分かる授業の構築と確かな学力の育成</p> <p>○児童会・生徒会活動の活性化</p> <p>○業務改善と働き方改革の推進</p>
------------	---

4 重点取組内容・成果指標	5 最終評価
---------------	--------

(1)共通評価項目				最終評価		学校関係者評価	
重点取組			具体的取組	達成度(評価)		実施結果	
評価項目	取組内容	成果指標(数値目標)		達成度	実施結果	評価	意見や提言
●学力の向上	●全職員による共通理解と共通実践	●「唐津の学びスタイル」チェックシートの平均3以上の成果指標を達成した教師80%以上	●全教職員間で学力向上対策評価シートの課題解決に向けた取り組みを共有するとともに、校内研究等により「唐津の学びスタイル」の取組を促進する。	B	・職員研修で動画視聴をし、調査の結果分析を行った。「唐津の学びスタイル」提案の「4つの感」を大切にし、児童にアンケートを取り、授業改善へと繋げた。今後も褒めることをベースに、「わかる授業」に取り組んでいく。	B	・読解力を高める指導を重視する方策として、読書タイムや言語力の育成などを、行っていくのは非常に良いことである。 ・スマホ等で本を読めるが、紙媒体の本を時間をかけて読んでほしい。また、どれだけたくさん本を読むのではなく、数は少なくても深く読んでほしい。
	○わかる授業の構築と確かな学力の育成	○「学習計画表を積極的に活用できた」と回答した教師80%以上 ○1人1台タブレットを活用した学習に積極的に取り組んだ。	○「学習計画表や1人1台端末の活用法について校内研究で深め、さらなる活用を目指す。」	・道徳教育や人権・同和教育を中心に、学校教育のあらゆる場面で心の教育の充実を図り、その様子保護者などへ紹介するように努める。	A	・一人一台端末を使った授業を全職員で参観することで様々な活用の仕方を知ることができた。職員研修により職員のスキルも向上した。 ・学習計画表の活用が80%に達した。今後もさらに活用を進めていく。	A
●心の教育	●児童生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動	○「友達に思いやりの心をもち、仲良く過ごすことができている」と回答した児童80%以上	・生活アンケートやいじめ調査を定期的に実施し、友人間トラブルの早期発見・早期対応に努める。	A	・道徳の授業をはじめ、なかよし集会や平和集会、6年部落史学習等で、人権や平和について考える機会をつくり、その内容について学校便りや学級通信で保護者へ紹介した。	A	・これからも外部人材を利用して、講演会や体験学習を進めてほしい。 ・挨拶やマナーに関して、受け答えがしっかりしてきているのは、日頃の指導のおかげと思っている。 ・コロナ感染症のこともありますが、バーチャルではなく、直接体験することが大事である。
	●友人間トラブルの早期発見、早期対応体制の充実	○「学級での心地よさを感じている」と回答した児童80%以上	・生活アンケートやいじめ調査を定期的に実施し、友人間トラブルの早期発見・早期対応に努める。	A	・10月と2月に家庭・学校生活アンケートを実施し、集計して傾向を見て考察し、全職員で共有することができた。	A	いじめ等の問題は、小さいうちから対応していることの積み重ねが大事である。 ・日頃から、思いやりの心を持つような、学習を続けてほしい。
●健康・体づくり	●「安全に関する資質・能力の育成」	●児童生徒の交通事故を0(ゼロ)にする	・教職員、保護者、交通指導員による登下校時の安全指導を行う。 ・交通安全教室(歩行・自転車)を実施し、交通安全教育を計画的・継続的に行う。	A	・上学年、下学年に分かれて発達段階にあった交通安全教室を行い、交通安全の意識を高めることができた。	A	引き続き事故防に気を付けて欲しい。
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務の標準化及び効率化の推進と時間外勤務時間の削減	●教育委員会規則に掲げる時間外勤務時間の上限を遵守する。	・時間外記録票を基に勤務実態を把握し、職員への声掛けを行う。週に1日は個人で定時退勤日を設定してもらうとともに、相談体制を充実させる。	A	・多くの職員が上限を守れている。今年度分の時間外記録票を、月ごとの平均時間と45時間超過をした月に色をつけた一覧表で可視化し、超過勤務職員には個別に対応した。毎日10分早く退勤することを呼びかけている。業務の標準化を図るために、分掌事務の年間一覧表を作って来年度活用する。	A	・業務の精選は、難しい面があるので、業務改善が進まないのではないか。 ・ライフワークバランスを考えながら、メリハリをつけて業務にあたってほしい。 ・メンタルケアはされていると思うが、管理職を中心に推進してほしい。

(2)本年度重点的に取り組む独自評価項目				最終評価		学校関係者評価	
重点取組			具体的取組	達成度(評価)		実施結果	
評価項目	重点取組内容	成果指標(数値目標)		達成度	実施結果	評価	意見や提言
○キャリア教育	◎児童が夢や目標を持ち、その実現に向けて意欲的に取り組もうとするための教育活動	◎「将来の夢や目標を持っている」について肯定的な回答をした児童80%以上	・5, 6年生のマナー検定や職業講話への参加を継続して行う。 ・生活科や総合的な学習の時間等にキャリア教育を意識した単元(発達段階に応じた内容)を組み込む。	A	・上学年の方が、より現実的に物事を考えられるようになり、下学年よりはやや消極的な回答が見られたが、将来の夢や希望を持っている児童は80%であった。職業について自分の視野を広げるためにも地域の方々や、日頃接することのない様々な立場の方との交流活動を今後も継続していく。	A	・今、好きな事や興味のある事から、目標をもってほしい。また、夢は、その時の状況で変わっていくものであるから、柔軟な考えでいいことを重視してほしい。 ・いろいろな見聞から、見る目を養っていくことが大事なので、今後も体験活動を行って欲しい。
○特別活動の充実	○児童の主体的活動の活性化	○「友だちの意見をよく聞いて考えることができた」と回答する児童80%以上	・学校行事に主体的に関わることで活動の見直しをもつことができた。「友達の意見を聞き、活動内容を考えることができた」と回答した児童は93%にのぼり、主体的に活動することができた。	A	・たてわり班活動、学校行事等で児童が計画を立てることで活動の見直しをもつことができた。「友達の意見を聞き、活動内容を考えることができた」と回答した児童は93%にのぼり、主体的に活動することができた。	A	・生徒主体の活動をこれからも重視し、生徒自らが考え、行動できる素地を培ってほしい。 ・コロナ感染症のこともありますが、人とのつながりをしっかりと実感した活動にしていきたいことが大事であると思う。

●...県共通 ○...学校独自 ◎...志を高める教育

5 総合評価・次年度への展望	<p>・学校教育目標をもとに、定期的に本校の課題を出し合い、解決に向けて、全職員共通理解のもと、研鑽を積んだ。</p> <p>・中学校区内で合同研修や推進会議を実施し、学校間連携を進めた。次年度は統合に向けて、より一層交流の機会を増やし情報の共有を図る予定である。</p> <p>・学力向上については、全員が授業を公開し、タブレットの利活用について研修した。「学力向上対策評価シート」や動画視聴を行い、課題の共有と目標の設定を行った。唐津市教育委員会の「唐津の学びスタイル」に提案されている「4つの感」を大切にしながら、授業改善に取り組んだ。次年度は定期的アンケートを取り、さらに研鑽を積んでいく。</p> <p>・学校行事等においては、開発的生徒指導の手法で、児童に出番と役割を与え、承認することで、達成感や成就感を感じさせることができています。</p> <p>・業務改善については、勤務時間についてはほぼ適正であるが、個人差がある。教材等は学年や教科のフォルダに保存し、次年度以降に利活用していく。また、年間を通しての校務分掌での業務の一覧表を元に、業務の標準化を図る。</p>
----------------	---